

平成 20 年度当初予算のポイント

※精査の結果、計数及び事業名等に異動を生じることがあります。

希望の芽を守り育てる「希望創造予算」
～ 「いわて希望創造プラン」を推進する第一歩の予算～

県民総力を結集し、4つの課題の解決に向け取り組み
県民所得の向上 雇用環境の改善 人口転出の歯止め 地域医療の確保

予算編成の方針

「いわて希望創造プラン」の着実な推進のため、中期的な財政見通しのもとで、戦略的に地域づくりへ取り組む予算として編成

《予算編成の基本的考え方》

- ◆ 集中改革プログラムに基づき、県民福祉の向上のため、さらに創意工夫を凝らしながら徹底した歳入・歳出の見直しを行い、真に必要な事業について重点的に予算化
- ◆ 今後 3 年間の歳入見込みや財源対策のもとで収支が均衡する見通しとなったことから、政策的な事業については、これまでの減少傾向に歯止めをかけ、21 年度から 22 年度までの間、20 年度当初とほぼ同様の規模での展開が可能に

《予算編成の方法》

- ◆ 全ての事務事業について総点検を実施し、要求段階から十分に精査
- ◆ 部局予算枠を廃止し、全庁的な調整の下で課題解決に必要な事業を選択

予算の規模等

H20 当初予算	H19・6月現計予算	増減額	増減率
百万円	百万円	百万円	%
658,352	685,500	△27,148	△4.0

※公債管理特別会計相当を除いた額で比較

- ◆ 事務事業の整理統合や内部管理経費の節減、施設整備事業については既存施設の活用を図るなど、創意工夫を凝らして最大限の効果が得られるよう事業化
- ◆ 県債の借換等の公債費に関する経理をより分かりやすくするため、「公債管理特別会計」を設置し、実力どおりの予算規模に整理

重点的に取り組む政策

「地域経営」の視点で、2つの基本戦略及び政策の「6本の柱」の各分野について、重点的に推進 ※次頁「平成 20 年度重点的に取り組む政策の概要」参照

- ◆ これまで課題とされていた、IGR 新指令システム構築や森のトレー償還金、緑資源機構幹線林道の地元受入れなどについても、適切に対処し、今後の道筋をつけたところ

集中改革プログラムの取組みと中期財政見通しの策定

持続可能な財政構造の構築に向けて「集中改革プログラム」に取り組み、平成 22 年度までの収支均衡を見込んだ中期財政見通しを策定

【中期財政見通し（H20.2月）】

(単位：億円)

区分	【参考】 H19	中期財政見通し		
		H20	H21	H22
歳入額 A	6,855	6,584	6,494	6,497
うち一般財源	4,536	4,355	4,330	4,370
歳出額 B	6,855	6,584	6,494	6,497
うち人件費を除いた歳出額	4,874	4,660	4,620	4,634
財源不足額 A-B	0	0	0	0
(参考)財源対策として歳入に織込んだ額	142	66	102	153

※H19は、6月現計予算の額を公債管理特別会計相当を除いた額に置換え

- ◆ 財源対策として、各種基金等の活用や未利用資産の売却等を歳入に織り込み
- ◆ 歳出抑制策の一つとして、職員給与の特例減額を実施(H20からH22までの3年間)

基本的
考え方

4つの重点課題の解決に向けた取組を着実に推進

県民所得の向上

雇用環境の改善

人口転出に歯止め

地域医療の確保

『地域経営』の
視点による取組

地域社会の構成主体の総力を結集し、地域の個性を生かした取組の展開により、地域の価値を高めていきます。
○新たな官民ネットワークの構築 ○官民協働による質の高いサービスの提供 ○多様な主体の参加の促進

注力する横断的取組(2つの基本戦略)

■ 新地域主義戦略

- 市町村の行財政基盤の強化等による4広域振興圏の確立
- 県北沿岸圏域の地域特性を生かした産業振興
- 草の根地域の維持・再生

■ 岩手ソフトパワー戦略

- 平泉の世界遺産登録を契機とした「いわて」の魅力発信
- 文化芸術・伝統文化の継承と創造
- 海外戦略の展開

分野毎に注力する取組(政策の6本の柱)

I 地域に根ざし世界に挑む産業の育成

- ◆自動車関連産業・半導体産業の集積促進を図るための川上・川下企業のネットワーク構築
- ◆企業のニーズに対応した基礎的な力やスキルを有するものづくり人材の育成
- ◆「いわて・平泉観光キャンペーン」の展開や広域観光ルートの設定等世界遺産登録を契機とした県内への誘客促進

II 日本の食を守る「食料供給基地岩手」の確立

- ◆経営の高度化・多角化や産地形成に必要な生産機械・施設等の整備の支援等による経営体の育成
- ◆県産GAPの定着等による安全・安心の充実やオリジナル品種、高度な生産技術の開発・普及等による産地形成
- ◆「食のプロフェッショナルチーム」等民間ノウハウを活用したマーケティングの展開等による販路の拡大

III 「共に生きる岩手」の実現

- ◆岩手医科大学の定員増に対応した奨学金制度の創設、女性医師の就業支援の充実等、医師確保対策の推進
- ◆ITを活用した周産期医療ネットワークやがん診療連携拠点病院の整備等、質の高い医療提供体制の整備
- ◆育児と子育ての両立支援や地域の子育て支援、社会全体で子育て支援を行う意識の醸成等の推進

IV 総合的な防災対策と危機管理の徹底

- ◆宮城県沖地震等の大規模災害に備えるため、木造住宅の耐震改修の支援や自主防災組織の育成・強化等総合的な防災対策の推進
- ◆防犯や交通安全における意識啓発、多重債務者等消費者被害対策とともに治安基盤の強化等による安全・安心なまちづくりの推進

V 「ふるさとづくり」を担う人材の育成

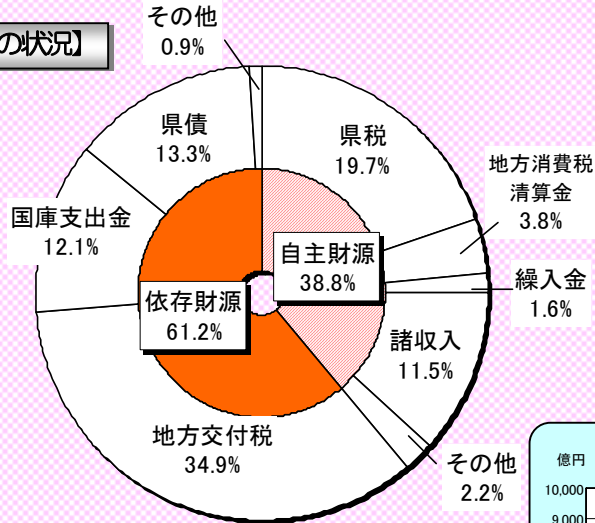
- ◆基礎・基本の定着状況の分析・把握による児童・生徒の学力向上対策や、体験活動を通じた心の教育を充実するとともに、競技スポーツ強化に向けた選手育成等を推進
- ◆市民活動のリーダー育成等による草の根コミュニティの維持の取組や「岩手ファン」獲得を通じた「いわてへの定住・交流」の促進

VI 世界に誇れる「岩手の環境」の実現

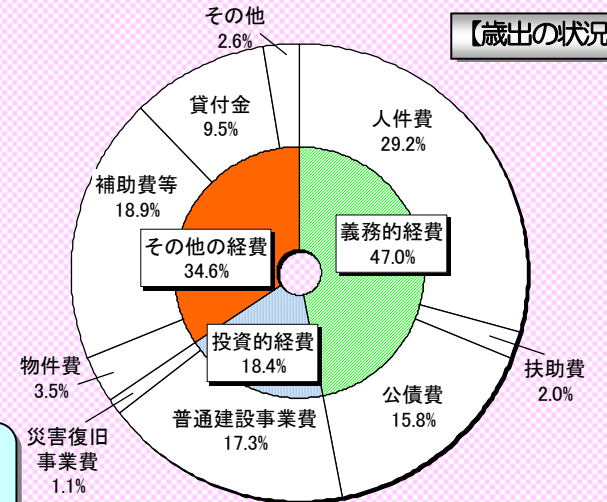
- ◆本県独自の環境分析技術の東アジア諸国への提供やイヌワシの保護増殖等多様で豊かな環境の保全
- ◆バイオエタノール、バイオディーゼル等の新エネルギー利活用促進に向けた取組推進
- ◆環境王国展の開催等による循環型地域社会に形成のための意識啓発と県民運動の展開

平成20年度当初予算の状況

【歳入の状況】

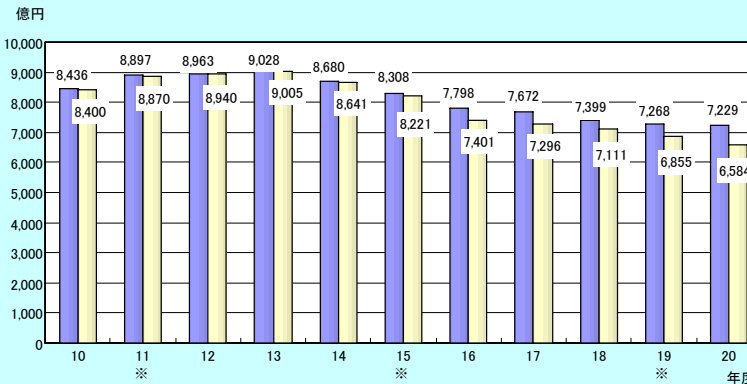


【歳出の状況】



希望の芽を守り育てる「希望創造予算」
～「いわて希望創造プラン」を推進する第一歩の予算～

【予算額の推移】



- ※印の年度は、当初予算が骨格予算のため、6月現計の予算額です。
- 19年度までのグラフ右側は、公債管理特別会計相当を除いた予算規模です。
- 20年度のグラフ左側は、公債管理特別会計を分離する前の予算規模です。

【プライマリーバランスの推移】

年度	H16	H17	H18	H19	H20
プライマリーバランス	△190	△38	52	5	△77

- プライマリーバランスとは、その年度の元金償還額から県債発行額を差し引いた額です。
- 平成19年度の額は、今後の2月補正予算を見込んだものです。
- 県債発行額及び元金償還額は、国の貸付による県債など、直接将来の負担にならないものは除いています。

【歳入】

(単位: 百万円, %)

区分	平成20年度 当初予算額	平成19年度 6月現計予算額	増減率
自主財源			
県税	129,622	129,424	0.2
地方消費税清算金	25,268	26,405	△ 4.3
繰入金	10,371	21,292	△ 51.3
諸収入	75,543	74,416	1.5
その他	14,431	14,586	△ 1.1
計	255,235	266,123	△ 4.1
依存財源			
地方交付税	230,075	241,151	△ 4.6
国庫支出金	79,514	84,155	△ 5.5
県債	87,290	88,255	△ 1.1
その他	6,238	5,816	7.3
計	403,117	419,377	△ 3.9
合計	658,352	685,500	△ 4.0

【歳入のポイント】

- ☆ 県税は、制度改正による減収が見込まれる一方、個人住民税や法人二税の増収が見込まれるため、全体では微増となる見込みです。
- ☆ 地方交付税及び国庫支出金は、人件費や公共事業の減などにより減少が見込まれます。
- ☆ 依存財源のうち「その他」の増は、制度改正に伴って創設された減収補てん特例交付金などによるものです。

【歳出】

(単位: 百万円, %)

区分	平成20年度 当初予算額	平成19年度 6月現計予算額	増減率
義務的経費			
人件費	192,392	198,118	△ 2.9
扶助費	13,268	12,623	5.1
公債費	103,742	110,888	△ 6.4
計	309,402	321,629	△ 3.8
投資的経費			
普通建設事業費A	114,139	117,836	△ 3.1
災害復旧事業費	7,327	8,477	△ 13.6
計	121,466	126,313	△ 3.8
(Aのうち県単独事業)	34,568	37,565	△ 8.0
その他の経費			
物件費	22,879	24,383	△ 6.2
補助費等	124,643	128,757	△ 3.2
貸付金	62,605	65,829	△ 4.9
その他	17,357	18,589	△ 6.6
計	227,484	237,558	△ 4.2
合計	658,352	685,500	△ 4.0

【歳出のポイント】

- ☆ 集中改革プログラムに基いて徹底した歳入・歳出の見直しを行いながら、「いわて希望創造プラン」の着実な推進のため必要な事業について重点的に予算化しました。
- ☆ 投資的な経費は、公共事業に加えて、高校や警察署建設等の大規模事業の実施により、ほぼ前年度並みの事業規模を確保しました。